

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	IUPUI	参加 プログラム名	インディアナプログラム	国名	アメリカ合衆国
氏名		学籍番号		学科	英語英文学科
参加時の 学年	2	参加費用 (日本円での概算)	80万円程度		
参加日程	2023年 7月 8日 ~	2023年 7月 31日 (3 週間)		記入年月日	2023年 8月 8日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

研修を通じて日本とは違う文化や価値観を知ることだった。また、自分の価値観や得た経験を様々な人に共有することも目的だった。日本にいただけでは感じることでできない感情や、経験をしてみたいと感じていた。日本にいたときは自分の価値観や考え方はある程度縛られてきてしまうところがある。しかし、アメリカで過ごすことを通じて多様な考え方を得ることができるのではないかと考えた。研修前まではなかなか自分の意見や考えを伝えることができなかった。自分の意見に自信が無いというだけでなく、誰かに伝えるということに抵抗があった。しかし、今回の研修でそのような自分ではなく、様々な人と関わり自分自身のことも伝えていきたいと考えた。これらのことからこの研修に参加しようとするきっかけとなった。

② プログラムについて

研修・活動の感想

私が最も感じたことは、感謝を伝えることはとても大切であるということだ。今回の研修に関わってくださった方々は皆、私に優しく接してくださった。先生だけではなく、現地の学生さんたちやホストファミリーの人まで私が困っていたら必ず声をかけ、助けてくれた。その優しさや、思いやりがあったからこそ安心して今回の研修を過ごすことができたと感じている。本当に感謝の気持ちでいっぱいになったがなかなかそれを英語で表現することは難しかった。それでも何度もありがとうと英語で表現した。そうすると相手はいつも笑顔で返事をしてくれた。笑顔が返ってくるたびに私自身も幸せな気持ちになり、さらなる信頼関係が築けていっているという確信につながっていった。自分の気持ちが完全に英語で伝わりきっていた訳では無いものの、想いは言語を超えて伝わるのだと感じた。感謝の気持ちを伝えることは相手だけでなく自分の幸せにもつながり、より円滑なコミュニケーションにつながっていくと感じた。

研修・活動以外の部分についての感想

研修や活動以外にも、アメリカの文化と日本の文化の違いを何度も経験した。例えば、バスの中の環境が異なっていた。日本ではバスや電車といった公共機関の中では静かにすることが良いこととされている。しかし、アメリカは気軽に知らない乗客の人とお話をしたり、困っていることがあったらお互いに助け合うと言ったちょっとしたコミュニケーションが存在した。このコミュニケーションはとても大切だと感じた。また現地の人とコミュニケーションをされていて驚いたのは、ホストマザーや先生や友達と言ったそれなりに関係性が築けている人と英語で話すことは少しずつできるようになっていったが、バスで突然話しかけられたり、店員さんに質問されたりと言ったような状況の時には英語がすんなり出てこないということだ。関係性が薄い人や突然話しかけられたという状況だったとしても対応することができるだけの英語力を持ち合わせていたら、もっと様々な人と関わり、話すことができたのでは無いかと考えるととても悔しいと感じた。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません

現地の学生さんは私たちや日本についてとても興味を持ってきていた。お互いの文化の違いを紹介し合うのはとても面白いことだった。現地の学生さんはインディアナポリスの街を案内してくれたり、積極的に話しかけてくれるなど私たちにとても献身的に接してくれた。現地の学生との思い出やつながりは一生忘れることのできない貴重なものだったと感じた。自分達の文化の話話を話しているうちに、自分の国のことをあまり知らないということに気づき驚いた。日本の歴史や文化の知識は曖昧な程度だったのだと何度も痛感した。現地の学生さんたちの質問に答えることができなかつたり、自分の国の話を盛り上げることができなかつたりしたことが悔しかった。曖昧な程度の知識だったので英語で表現することはもっと難しく、中途半端になってしまったことにもどかしさを感じた。それでも自分の国の話だけではなく、相手の国の文化や価値観を知ることができて本当によかったと感じている。自分が文化の違いを感じただけではなく、アメリカの人から感じる視点も得ることができ、私にとってはとても新鮮だった。何度もたくさん話を共に時間を過ごしたため、文化の違いを乗り越えて人と人繋がることのできたという経験は私にとって自信となった。現地の学生さんの人柄の暖かさに触れ、もう一度このプログラムで再会したいと感じるほどに感動した。

③ 参加の成果について

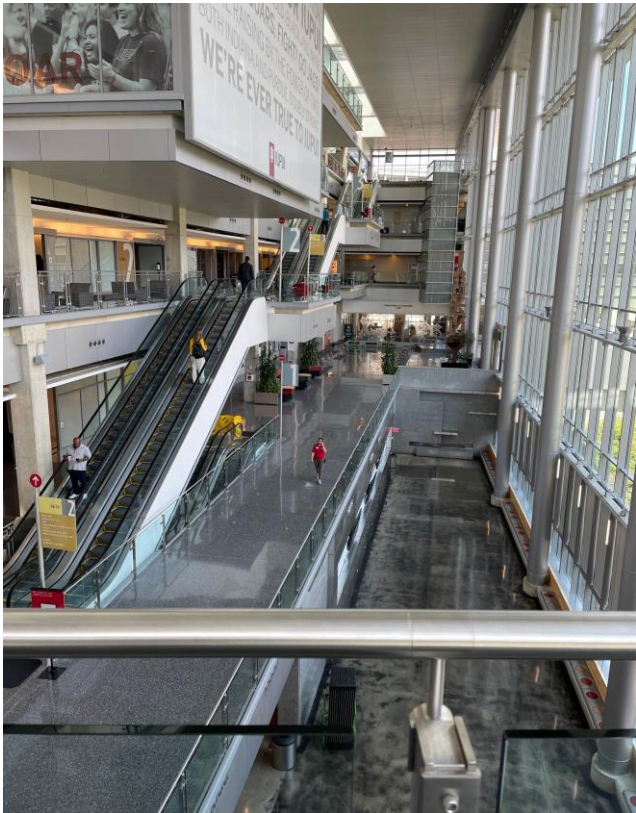
今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

まず学習的な面では自分の英語力の低さに悔しく、成果をあまり感じなかった。そのため英語をもっと真剣に勉強しなくてはならないと感じた。今回の研修に関わってくださった方々は本当に優しく、親切だった。そのため会話していて安心できたり面白かったりと自分にとってかけがいのない時間だった。会話が日数が経つにつれて少しずつコミュニケーションが取れていった。しかし、自分の英語力がもっと高かったら、コミュニケーションが円滑になりもっと話すことができ、たくさん価値観や考えを共有しあったりすることができたのではないかとどかしさの方の感情が強かった。自分の考えていることやコミュニケーションがうまく取れなかったこともあった。自分の英語力が足りないという状況が自分にとってはとても悔しかった。だからこそこれからはその悔しさを忘れることなく、勉強に費やしていきたいと感じた。精神的な面では、自分の意見をきちんと伝えることが少しできるようになったのではないかと考えた。以前の私は周りの意見を聞いてから考えていたり、自分の意見を考えることから逃げていたこともあった。しかし、ホストファミリーにそのことを指摘され、自分で心がけるようになった。自分の主張をしていくことの重要性を改めて感じた。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

今回の研修は人生の中でも忘れることのできない貴重な経験だった。様々な経験の中には、悔しかったことや失敗したこともあった。失敗に恐れてしまい、気が沈んでしまったこともあったがそのような感情も必ずしも悪いことではなく、自分の成長には必要なものだったと振り返って気づいた。この研修に参加するか考えている人の中には、海外で1ヶ月生活することに抵抗を感じていたり、不安に思っていて最初の一步が踏み出せない人もいらっしゃる。そのような人々に伝えたいのは、大丈夫だということだ。日本との文化の違いに悩んだりうまくコミュニケーションが取れないことがあっても、必ず誰かが手を差し伸べてくれた。また、苦しさも自分の成長にとっても役に立つ重要な経験の一つであるため、心配しすぎる必要はない。一步踏み出してみることを強く勧めたい。



IUPUI構内



Sushi-pizza party